

Press Release

2008年6月18日

ダイレクト・ドライブ方式モータを搭載した ロータリテーブル“DDRT-260”受注開始

森精機製作所は、DDM(ダイレクト・ドライブ方式モータ)を搭載した高速・高精度ロータリテーブルを全ての立形マシニングセンタに搭載可能とし、4軸を使った高能率加工、高速・高精度の割り出し機能による工程集約を実現しました。

DDRT(ダイレクト・ドライブ・ロータリテーブル)は従来のウォームギヤ方式と異なり、DDMを採用しています。DDMは駆動力をダイレクトに伝達する事で高速送りを可能とし、かつギヤを経由しないためバックラッシゼロを実現しています。その結果、曲面加工での面品位が飛躍的に向上しました。また従来品と比較し、伝達効率が大幅に向上したため、モータの消費電力においても省エネルギーに大きく貢献します。更に、回転部にギヤなどの摩耗部品がないため、メンテナンスレスという特徴も持ちます。

DDRT-260はテーブル直径260mmであり、φ200mmの大口径クロスローラベアリングや高精度エンコーダを採用し、テーブル最高回転速度150min⁻¹、位置決め精度4秒(ISO230-2による実測値)を可能とし、高速・高精度割り出しを実現しました。

DDRTは今後、200mm、300mm、400mmとテーブル直径のバリエーションを増やし、シリーズのラインアップ充実を図ります。

DDRT-260は、6月19日(木)～21日(土)に弊社伊賀事業所にて行われます初夏プロダクティビティショー2008にてDuraVertical 5100に搭載します。またテーブル直径200mm、300mm、400mmのタイプも参考出品いたします。DDRTの優れた駆動性能、付加軸を利用した高能率加工を是非、会場にてご確認ください。

※DDMは株式会社森精機製作所の日本、米国およびその他の国における商標又は登録商標です。

品名	ロータリテーブル
機種名	DDRT-260
販売先・市場	一般部品加工など
受注開始	2008年6月19日
生産台数	30台/月

■主な仕様

	DDRT-260
テーブル直径	260 mm
寸法(高さ×幅×奥行き)	315×431×322 mm
センタハイト	160 mm
ノーズ穴径	75 mm
テーブル最高回転速度	150 min ⁻¹
クランプシステム	空圧
クランプトルク(0.5 MPa)	1,000 N・m
位置決め精度	5 秒
水平荷重	350 kg
垂直荷重	150 kg
機械質量	155 kg

以上



図 1.外観(DDRT-260)